

公益財団法人仏教伝道協会

平成 30 年度事業計画書

公益財団法人仏教伝道協会は、日本文化の基本でもある慈悲と共生の仏教精神と仏教文化とその学術振興を促進し、現代的理解を弘め、グローバルな啓蒙活動を通して豊かな人間性を育て、より良い社会形成を推進し、もって人類の幸福と世界平和の実現に貢献することを目的とし、その目的を達成するため、定款に定める事業に沿って「平成 30 年度事業計画」を立案する。

1. 公益目的事業計画（公 1）

1. 趣旨（目的）まとめの理由

仏教典籍の現代語訳、外国語訳を行いその刊行、普及事業や仏教関連の各種講座、研究会の開催による仏教精神の啓蒙活動、さらに仏教音楽祭などによる仏教文化の興隆と継承活動、また仏教精神、学術、文化の振興に積極的に関わってきた個人、団体への顕彰・助成等いろいろな支援事業を通して世界中の一人でも多くの人に理解して頂き、豊かな人間性を育て、より良い社会形成促進をもって人類の幸福と世界平和の実現という共通の目的達成の手段であり下記の 2-1) から 2-3) までの事業は、つながりのあることから一つにまとめている。

2. 事業

2-1) 仏教典籍の現代語訳及び外国語訳による編集とその普及事業

1. 「仏教聖典」現代語訳、外国語訳刊行、頒布事業に関する事項

◇「仏教聖典」各国語訳とその出版について

全世界に仏教思想を伝えるべく、「仏教聖典」の翻訳改訂を進めている。現在、翻訳言語数は 46 言語に及び、翻訳と共に既刊の「仏教聖典」をより現代に即した内容にするための改訂編纂に努めている。平成 30 年度はゾンカ語、ベンガル語、アラビア語等の改訂を進める。また、今後予想される情報メディアの多様化に対応するために、「仏教聖典」のデータ化を進める。

◇「仏教聖典」の普及について

世界の主要ホテルの客室に「仏教聖典」を寄贈常備する活動を行っている。

平成 30 年度は国内外のホテルへ約 17,000 冊（国内 12,000 冊、海外 5,000 冊）の寄贈を予定している。また平成 30 年度も引き続き、「仏教聖典」のホテル客室への常備を拡大するため、ホテル関係者へ当協会の活動を理解してもらうこと

を目的に、ホテル経営者向けセミナーでの活動紹介を企画している。ホテル向け専門誌の発刊やホテル経営者向けセミナー開催を行っている株式会社オータパブリケーションズと協力し、セミナー内で仏教伝道協会の活動の紹介を積極的に展開する。会場は名古屋、沖縄、大阪、東京、広島、金沢を予定している。

また近年、中国人や韓国人が訪日外国人の大半を占めていることを考慮して、「仏教聖典」の一部を抜粋した小冊子『ブッダのおしえ』の中国語・韓国語版を出版する予定である。

仏教系学校および保育施設への聖典普及については、継続してその頒布に努め、約 35,000 冊を予定している。また、病院、社会福祉施設、行刑施設、公共機関等への寄贈活動も継続して行う。

◇『さとのりの知恵を読む-仏教聖典副読本』の普及について

学校の授業や公開講座での活用を目的として、「仏教聖典」のやさしい解説書『さとのりの知恵を読む』の仏教系学校、保育施設、寺院への頒布を推進する。

また、書店を通して広く一般への頒布を推進するため、カラー版『さとのり言葉』としての再版を平成 30 年度内に予定しており、同時に海外向けの英語訳の刊行も行う予定である。

2. 英訳大蔵経の刊行、頒布事業に関する事項

欧米をはじめとする英語文化圏に向けての仏教精神の理解と普及のため、「集大成された仏典」である『大正新脩大蔵経』の英訳刊行事業を日本の仏教伝道協会と米国仏教伝道協会の共同事業として進めている。日本の英訳大蔵経編集委員会と米国の英訳大蔵経出版委員会の協力のもと、第一期分として全体量の約 10 分の 1 に相当する 139 典籍の翻訳・刊行を進め、これまでに米国仏教伝道協会より、88 典籍 54 巻を刊行している。既刊典籍の PDF データを HP 上で公開し、英訳大蔵経の利便性・公共性を高めている。また東京大学が中心となり進められている大正新脩大蔵経テキストデータベース研究会（通称：SAT）に英訳データを無償提供し、Web 上での電子大蔵経のプロジェクトを支援している。なお、平成 30 年度は第 55 巻目となる『薬師琉璃光如来本願功德經/月上女經』等の出版、新刊毎に約 200 冊の国内頒布を予定している。

また、2018 年 5 月上旬に米国仏教伝道協会設立 40 周年記念式典がパークレーで開催されるのに合わせ、米国の英訳大蔵経出版委員会と日本の英訳大蔵経編集委員会との合同会議を設け、英訳大蔵経事業について進捗や今後の方針を確認する。

3. その他仏教書籍の出版、頒布に関する事項

仏教の精神文化の裾野を広げるためカレンダー・仏教書籍を制作、全国の寺院、学校、保育施設等へ頒布する。

◇「一日一訓カレンダー」の普及について

「仏教聖典」や古今の名言から文言を選び、日々の暮らしに仏教を活かすツールとして日めくりの「一日一訓カレンダー」作成している。

平成30年度は『一日一訓カレンダー―八正道シリーズ 正念―』143,000部を印刷、その内113,500部を全国約1,000ヵ所に頒布し、残りの29,500部を国内外のホテル、病院諸施設等に寄贈する予定。なお、カレンダーに掲載する写真については、平成29年度の第4回フォトコンテストで入選した作品を使用する。

またこれまで壁掛け仕様のカレンダーを頒布してきたが、住環境の変化を考慮し卓上カレンダーを10,000部試作、一部を関係者への寄贈用、残りを販売用とし、顧客動向を探る予定である。

同時にパソコンモニターのスクリーンセーバーとして一日一訓カレンダーを表示する企画も進めている。

◇「一日一訓カレンダー」フォトコンテスト及び写真展の開催について

2014年より「一日一訓カレンダー」の文言に併せて掲載する写真を広く一般から公募し、写真を通じて仏教に親しんでもらうためのフォトコンテストを実施している。

平成30年度は平成29年度に引き続き、「第5回一日一訓カレンダーフォトコンテスト」を開催し、「2020年用一日一訓カレンダー（2019年刊行）」に掲載する写真を公募する。

また平成29年度「第4回一日一訓カレンダーフォトコンテスト」入選作品の写真展を、4月下旬～5月下旬に東京・築地本願寺、6月末～9月中旬に京都・平等院ミュージアム（※）、10月下旬～11月下旬に宮城・瑞巖寺にて開催する。

◇釈尊絵伝絵画展の開催について

平成29年度、額縁を新調し、デジタルデータ化した「釈尊絵伝（1956年製作/画：野生司香雪）の原画7点」の絵画展を、京都・平等院との共催で、6月末～9月中旬に平等院ミュージアムにて開催する（※カレンダー写真展と同時開催）。

◇「みちしるべ」発刊について

「一日一訓カレンダー」の文言を、より深く理解するための解説書として施本「みちしるべ」を発刊している。

平成30年度は『みちしるべ―正念』（著者 中島教之氏 日蓮宗 護法寺前住職・元「南無の会」主任）を刊行し寺院を中心に、約45,000部の頒布を予定。平成31年度発刊予定の『みちしるべ―正定』は、田上太秀氏（曹洞宗 駒澤大学名誉教授）に執筆を依頼した。また、アーカイブ化によるデータの保存と、より

広い年齢層の新規読者の開拓のため「みちしるべ 八正道シリーズ」の電子書籍化を進める。

◇「こころの絵本大賞」開催と大賞受賞作発刊について

読み聞かせを通じて、子どもたちに「こころ」の大切さを伝えたいという願いのもと平成 29 年度に第 2 回「こころの絵本大賞」（協賛：鈴木出版(株)、後援：毎日新聞社・(公社)日本仏教保育協会・(公財)全国青少年教化協議会)を開催し、応募総数 80 作品の中から大賞に選ばれ出版した『はしる おじぞうさん』の頒布を推進する。

また、平成 30 年度も同様に、第 3 回「こころの絵本大賞」の公募を実施。大賞受賞作品には 50 万円の賞金贈呈と書籍化を予定している。

◇『ブッダがせんせい』（英語版海外送付）

子ども向け仏教、道徳教材として刊行し、大きな反響があった『ブッダがせんせいー心を育てる子ども仏教塾』の英語版『Buddha is Our Teacher』を発刊し、海外協力機関を中心に 6,000 部を寄贈する予定である。（制作予算は平成 29 年度計上済み）

◇「青少年対象の仏教書籍」出版準備

ベストセラーとなった『ブッダがせんせい』の著者である宮下真氏に「青少年の悩みに対して仏教的に答える内容」の書籍の執筆を依頼している。平成 30 年度中に校了し、平成 31 年度に発刊する予定である。

◇ホームページ「名僧法話傑作選」について

現在までに数多くの僧侶が仏教伝道協会の書籍発刊のために法話を執筆している。それらを伝道協会のホームページに掲載することにより、web 上で一般の方がたが仏教の教えに触れる機会を提供する。

2-2) 仏教精神と仏教文化とその学術振興の促進に対する助成と表彰事業

1. 留学生奨学金制度に関する事項

◇外国人留学生奨学金制度について

奨学生が自国に戻り日本で学んだ仏教精神とその文化を広く伝えていただきたいとの願いから、日本で仏教学研究を希望する外国の学者・研究者または学生に対して、外国人留学生奨学金交付制度を設けている。

平成 30 年度奨学生の募集は、平成 29 年 9 月 1 日から国内外の有名大学や研究機関へ留学生奨学金案内書と推薦書を約 210 通送付して依頼及びホームページで一般公募を行い、15 名の申請があった。

平成 30 年 2 月 16 日に外国人留学生奨学金審査委員会を開催し、次の 3 名が選ばれ、平成 30 年度外国人留学生奨学金の支給を実施する。(申込順)

受給者① 氏名：Vladimir Angirov (アンギーロフ・ウラディーミル)
国籍：ドイツ・ロシア
日本での所属機関：九州大学大学院・人文科学研究院
指導教授：片岡 啓 先生
研究内容：ジュニャーナシュリーミトラ著『主宰神論』批判校訂に向けて

受給者② 氏名：Meghan Howard (ハワード・メガン)
国籍：アメリカ
日本での所属機関：早稲田大学
指導教授：山部 能宜 先生
研究内容：『瑜伽師地論』と、法成 (Chos grub) の敦煌写本中の講義録『瑜伽論手記』と『瑜伽論分門記』を研究予定

受給者③ 氏名：Gilsan Lee (李 吉山)
国籍：韓国
日本での所属機関：東京大学大学院人文社会系研究科
指導教授：高橋 晃一 先生
研究内容：初期瑜伽行派の染汚意の概念史

◇日本人留学生奨学金制度について

平成 25 年度から日本人の学者や研究者が海外の大学や研究機関にて仏教精神とその文化を学び、将来世界のこの分野で大きく貢献してくれることを期待して日本人留学生奨学金制度を設けている。

平成 30 年度奨学生の募集は、新たに短期留学支援制度も導入し、平成 29 年 7 月 1 日から国内外の有名大学や研究機関へ留学生奨学金案内書と推薦書を約 150 通送付し、平成 29 年 9 月 1 日、2 日に開催された日本印度学仏教学会第 69 回学術大会にても案内を配布。ホームページで一般公募を行い、6 名の申請があった。平成 29 年 12 月 25 日に日本人留学生奨学金審査委員会を開催し、次の 3 名が選ばれ、平成 30 年度日本人留学生奨学金の支給を実施する。

<1 年留学支援>

受給者① 氏名：山崎一穂
海外での所属機関：マクマスター大学 (カナダ)
指導教授：Shayne Clarke 先生
研究内容：『根本説一切有部律雜事』に見られる説話の研究

<短期留学支援(6ヶ月)>

受給者②氏名：鈴木 伸幸

海外での所属機関：ライデン大学(オランダ)

指導教授：Jonathan A. Silk 先生

研究内容：『学処集成』「布施波羅蜜章」の研究

受給者③氏名：秦野 貴生

海外での所属機関：オーストリア科学アカデミー(オーストリア)

指導教授：Birgit Kellner 先生

研究内容：「チベット人注釈から見るダルマキールティのアポーハ論構造」の研究

2. 顕彰事業に関する事項

仏教伝道文化賞は、国内外を問わず、仏教精神、仏教文化、仏教学術及び布教伝道など仏教に関わる幅広い分野で貢献された方がたの功績を讃え、また今後のさらなる活躍を願い表彰する賞として昭和42(1967)年に創設された。

長年に亘って仏教伝道文化に貢献のあった方または団体に「仏教伝道文化賞」を、また今後の仏教伝道を通じた文化活動の振興が、大いに期待できる方または団体に「仏教伝道文化賞 沼田奨励賞」を授与する。

平成30年度は10月4日(木)に贈呈式の挙行を予定し、4月初旬より国内外の仏教各宗派、大学等の教育機関、研究機関、仏教団体、報道機関、政府機関及び専門家等に推薦依頼状を発送、「仏教伝道文化賞」及び「仏教伝道文化賞 沼田奨励賞」の推薦を受け、7月19日(木)に仏教伝道文化賞選定委員会を開催し、平成30年度の受賞者を決定する。

3. 助成事業に関する事項

当協会の事業目的と同じ目的を持ち、その活動を積極的に展開している個人及び団体を選定し、当協会の目的とする事業実現のため国内外で助成支援を行う。助成にあたっては、外部有識者や専門家からなる助成金審査委員会のもと、公正な審査を経て選定、助成する。

平成30年度助成対象(平成29年度募集分、交付時期平成30年4月～平成31年3月)を審査するため、平成30年1月29日に助成金審査委員会が開催され、審議の結果、下記の団体にそれぞれ助成金を交付することが決定し、平成30年度は国内総額で19,850,000円、海外はUS\$425,000、£30,000、€140,400の助成を実施する。

A. 団体支援助成

団体名	申請事業名称
日本印度学仏教学会	学会の情報化対応を介した国際的学术交流及び文化貢献の促進事業
日印文化交流ネットワーク	仏教を核とする日印文化交流ネットワーク構築並びに日印文化交流促進事業
特定非営利活動法人 鎌倉てらこや	大学・寺社・行政・市民ボランティアの協働による地域コミュニティ再興事業

B. 事業支援助成：B-1 仏教精神・文化普及活動及び人道支援活動

団体名	申請事業名称
(公財) 全国教誨師連盟	教誨師研修事業
(一社) 真人会	福島の子どもを招待する修道研修会事業
仏母寺	日本仏教実践授業講座
十夜フェス実行委員会	十夜フェス実行事業
「祈りの道」気仙三十三観音 再興プロジェクト	気仙三十三観音霊場の再興事業
大学仏教青年会連合	シンポジウム及び勉強会の開催事業
NPO 日印交流を盛り上げる会	もっと知ろうー婆羅門僧菩提僊那を継承する ー運営事業
(一社) 向源	寺社フェス「向源」実行事業
(一社) 寺子屋ブツダ	高座バトル実行事業 （「落語」 vs 「説法」 お坊さんと落語家のおもしろい噺、いい話
東北大学大学院実践宗教学寄附講座	臨床宗教師育成事業
全日本仏教青年会	「仏教×SDGs×音楽」実行事業
全日本仏教青年会	現代の僧侶を考えるワークショップ実行事業
(一社) 在家仏教協会	講演会開催事業
京都仏教文化フォーラム	2018年度「京都・お坊さん歩」「仏教の流れを知る講座」をはじめとした京都における仏教精神・仏教文化の普及事業

B. 事業支援助成：B-2 仏教学術振興活動

団体名	申請事業名称
龍谷大学 龍谷ミュージアム	2018 年度春季特別展「お釈迦さんワールド ーブツダになったひとー」開催事業
(公財) 中村元東方研究所	平成 30 年度研究調査事業
UC Berkeley Center for Buddhist Studies カリフォルニア大学 バークレー校 仏教学センター	沼田智秀仏教書籍優秀賞

B. 事業支援助成：B-3 仏教文化財保護活動

団体名	申請事業名称
東京藝術大学大学院 文化財保存学専攻 保存修復彫刻研究室	仏像の調査研究および修復・模刻を通じた人 材育成事業
東京藝術大学社会連携センター	アフガニスタン メス・アイナク仏教遺跡遺 物の修復事業

C. 沼田仏教講座運営維持・新規開設支援助成

団体名	申請事業名称
Hamburg University Numata Center for Buddhist Studies (ハンブルク大学沼田仏教学センタ ー)	沼田仏教学センターの充実化事業
The University of Chicago Divinity School (シカゴ大学神学部)	沼田仏教講座活動助成
Princeton University (プリンストン大学)	沼田仏教講座設立事業

助成金分割交付分

団体名	申請事業名称
(一社)お寺の未来 (お寺おやつクラブ)	お寺おやつクラブ活動助成
Institute of Buddhist Studies (米国仏教大学院)	沼田恵範教授基金
SOAS, University of London (ロンドン大学東洋アフリカ研究学院)	沼田仏教学教授ポスト 設立事業
University of Vienna (ウィーン大学 南アジア・チベット・仏教学部)	沼田仏教講座基金
University of Vienna (ウィーン大学 南アジア・チベット・仏教学部)	沼田仏教講座活動助成
Hamburg University (ハンブルク大学)	沼田仏教学教授ポスト 設立事業

2-3) 仏教精神とその文化興隆にかかわる啓蒙活動と支援事業

1. 啓蒙活動としての仏教関連講座、セミナー、研究会等の運営に関する事項

◇仏教聖典を初歩英語で学ぶ会について

英語を通して仏教精神を学ぶことを目的とし、ホームページ、業界新聞、行事チラシなどで案内し、平成 23 年より「仏教聖典を初歩英語で学ぶ会」を開催している。

平成 30 年度は、ケネス・田中氏（武蔵野大学元教授）とケアリー・田中氏（英語音声学研究者）の二人を講師に、平成 28 年度より実施した国際社会に向けて寺院等で英語によるガイドができる人材育成に貢献することを目的とした「Buddhist English Guide プログラム」の 3 級コースおよび 2 級コースにて、英語を交えながら仏教を学ぶカリキュラムを実施する。各コースは月 1 回開催し、3 級コースは定員 80 名、2 級コースは定員 40 名とする。

また、平成 29 年度の 2 級コースを卒業した受講生を対象に、平成 30 年 11 月に開催される世界仏教徒大会の英語ボランティアや都内寺院でのボランティアに紹介する予定。

◇実践布教研究会について

日本仏教の祖師がたが歩まれた道を、現代に生きる僧侶たちが自ら体験することによって、聞・思・修一体となった仏道を体験していただき、仏教の現代的理解の促進、ならびに各宗派の僧侶間の交流を推進すべく、各宗派の本山を会場に毎年 1 回 2 泊 3 日にて実践布教研究会を開催しており、現在までにその開催実績は 47 回を数える。

平成 30 年度は 6 月 6 日(水)から 6 月 8 日(金)まで、第 48 回実践布教研究会として浄土宗 総本山 知恩院を会場に「布教伝道～法然上人に学ぶ～」をテーマに開催する。また平成 30 年度より、研究会での講演内容(映像)を編集し、ホームページにて公開する。

さらに宗派を超えた僧侶間の交流をより促進すべく、実践布教研究会前日の 6 月 5 日(火)に分科会でのテーマも事前に研鑽する「特別法座」を設け、参加僧侶方の語り合う場を提供する。

◇仏教聖典を生活に活かす会について

仏教精神を日常生活に活かすことを目的としてホームページ、業界新聞、行事チラシなどで案内し、「仏教聖典」を基本教材に、毎月 1 回(原則、第 4 火曜日、午後 1 時 30 分から午後 4 時まで、講話・質疑応答・座談会を含む)専門家の講師を招き、「仏教聖典を生活に活かす会」(全 10 回)を主催運営する。講師は、塩入亮乗氏(聖観音宗法善院住職)と小山一行氏(武蔵野大学教授)。

◇仏教聖典を経営に活かす会について

仏教精神を学び事業経営に活かし、また人生の道標の一助とすることを目的とし、おもに事業経営者や社会人を対象にホームページ、業界新聞、行事チラシなどで案内し、「仏教聖典」を基本教材に、毎月 1 回(原則、第 3 水曜日、午後 6 時から 8 時まで、講話・懇談会含む)専門家の講師を招き、「仏教聖典を経営に活かす会」(全 10 回)を主催運営する。講師は、山田義俊氏(浄土真宗本願寺派 林光寺住職)と中野東禅氏(曹洞宗竜宝寺前住職)。なお 9 月には、日本仏教への理解を深めると同時に参加者同士の交流をはかることを目的に、「仏教聖典を生活に活かす会」の参加者と合同で、寺院等を訪問し、研鑽する「秋季研修会」を開催する。

◇BDK シンポジウムの開催について

平成 25 年 4 月から、一般の方がたに、より仏教文化、仏教精神の素晴らしさを広く知っていただく機会を提供する為、シンポジウムを企画、ホームページ、新聞、行事チラシなどで案内し実施している。

平成 30 年度は、BDK シンポジウムとして全 4 回の開催を企画する。4 回のうち 2 回は、著名人等を講師に招き、広く一般の方がたに仏教精神に親しんでいただくものを企画する。残りの 2 回のうち 1 回は仏教伝道文化賞の認知を広めるため、地方において仏教伝道文化賞受賞者による講演とし、もう 1 回は、長年「仏教聖典を経営に活かす会」を開催してきた経験を活かし、仏教精神を経営の現場で活かすための講演会を愛知県で開催する予定である。

◇鶴見大学共同企画講座 全 3 回の開催について

仏教伝道協会の活動の領域を広げ、さらに幅広い世代の方がたに向けて発信すべく、鶴見大学の特別協力のもと、死生観をテーマにした一般の人に向けた講座を 2 回、日本在住の外国人向けに英語で日本の仏教について学んでいただく講座を 1 回開催する。

1) 平成 30 年 6 月 24 日 (土)

「生きるのも死ぬのも面倒になったとき」(仮)

講演者：釈 徹宗 氏 (浄土真宗本願寺派如来寺住職)

名越康文 氏 (精神科医)

2) 平成 30 年 9 月 1 日 (土)

「死との向き合い方」

講演者：南 直哉 氏 (曹洞宗霊泉寺住職、恐山菩提寺院代)

3) 平成 30 年 10 月 13 日 (土)

「Guide to Buddhism in Japan」(仮)

講演者：藤田一照 氏 (曹洞宗国際センター 2 代所長)

◇BDK 仏教ヨガ講座の開催について

平成 27 年度より、健康や美容という視点のみに焦点が当てられていたヨガを、釈尊が実践していた修行体系(呼吸法)の一つであることに戻り、浄土宗僧侶でヨガインストラクターの資格を持つ Yuuka(ガッソ有香)氏を講師とし、当協会独自のヨガとして仏教に焦点を当て、毎月第 1 水曜日、午後 7 時 00 分から午後 8 時 30 分まで) 仏教ヨガ講座を開催(参加費 500 円)。

平成 30 年度は、Yuuka 氏に加え、Sayuri(野沢小百合)氏も講師に迎え、各開催回毎にヨガのテーマを設定し、ホームページ、各メディアなどで広く案内し、それぞれの開催月に合ったヨガを実施する。なお、平成 30 年度より参加費を 1 回 1,000 円とする。

さらに、平成 29 年度同様、よりヨガと仏教の関連性を知っていただくための、本講座の特別イベントを開催予定である。

◇「坐禅とヨガで知る 手放すこと 受け取ること」開催について

普段仏教に馴染みない方に向けて、法話と坐禅とヨガを体験していただく講座を曹洞宗萬年山青松寺で平成30年4月14日（土）に開催する。

青松寺及び当協会ホームページの掲載、チラシ設置にて告知を行う。

◇仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」について

平成28年度より、仏教の基本的な知識に触れることの少ない方を対象とし、日本仏教の各宗派の基本的な教義や宗祖について学ぶ、仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」を開催し、大変好評であった。

3年目にあたる平成30年度では、新しいエリアの参加者獲得および当協会の活動周知のため、これまでの当協会ビルからJR渋谷駅近郊に会場を移して開催する。開催日程、各回の講師等については以下の通り。

仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」開講日程

開催日程	取り扱う宗派・宗祖	講師名
4月25日（水）	天台宗・最澄	塩入亮乗氏
5月30日（水）	真言宗・空海	松島龍戒氏
6月27日（水）	浄土宗・法然	吉田龍雄氏
7月26日（木）	浄土真宗・親鸞	斎藤信行氏
9月26日（水）	日蓮宗・日蓮	早島英観氏
10月31日（水）	臨済宗・栄西	細川晋輔氏
11月28日（水）	曹洞宗・道元	下室覚道氏

（参加費各1回1,000円）

また、平成30年度の新企画として、仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」を経て、もう少し深く学びたいという方に向けた仏教初心者講座“中級編”を企画、開催する予定である。

◇特別坐禅会の開催について

平成28年度、平成29年度と2度にわたり、坐禅とヨガを組み合わせた「特別坐禅会」を曹洞宗大本山総持寺にて開催したところ、大変好評を得た。

平成30年度も坐禅、ヨガ、精進料理、諸堂拝観を、引き続き総持寺において開催。ホームページ、各メディア、行事チラシなどで案内し、平成30年11月18日（日）の開催を予定している。

◇「食べること 生きること ～死の体験旅行（仮）」の開催について

平成30年度の新企画として、浦上哲也氏（浄土真宗高田派僧侶、なごみ庵住職、自死・自殺に向き合う僧侶の会 共同代表）による“死の体験旅行”のワークショップを当仏教伝道センタービル8階ホールにおいて実施する。“死ぬこと”

を疑似体験した上で、人が“生きていく”上で欠かすことのできない「食」を通じて、前向きに生きることを考えていただき、また同時に仏教の考え方、教えを学んでいただく機会を提供する。食の体験（精進スイーツの提供）については、木原祐健氏（浄土真宗本願寺派僧侶、光明寺衆徒、神谷町オープンテラス店長）に担当していただく。ホームページ、各メディア、行事チラシなどで案内し、広く一般に参加者を募る。平成30年11月10日（土）の開催を予定している。

◇「港区日本仏教体験ツアー」の開催について

「港区にいながら、仏教宗派の実践体験できる」というコンセプトのもと、ひろく一般の方がたに仏教を体験していただく講座「港区で日本仏教体験ツアー（仮題）」を開催する。ホームページ、各メディア、行事チラシなどで告知し、広く一般に参加者を募る。平成30年10月13日の開催を予定している。

スケジュール（①から⑤を順に巡る）

- ①増上寺（浄土宗）—一念仏体験 9時～10時
- ②青松寺（曹洞宗）—坐禅体験 10時30分～11時45分
- ③昼食（精進料理）—精進食体験 11時45分～13時
- ④光明寺（浄土真宗）—読経・法話体験 13時30分～14時30分
- ⑤真福寺（真言宗）—阿字観体験・まとめの話 15時～16時

◇FM大阪ラジオ企画について

若年層へのアプローチとして、また仏教伝道協会の知名度の拡大をはかるため、関西圏をカバーするFM大阪にて、仏教をテーマにしたラジオ番組の制作、放送を企画する。番組の規模は5分間とし、若年層に親しみのあるパーソナリティを起用の上、毎週土曜日の深夜帯での放送を計画している。

◇全日本仏教青年会「現代の僧侶を考えるワークショップ」への参加について

9宗派の仏教青年会、4地域の仏教青年会が加盟する超宗派の全国組織である全日本仏教青年会において、「現代の僧侶を考えるワークショップ」が全国各地で開催される。このワークショップに職員を参加させ、仏教伝道協会の活動を紹介するとともに、各地方寺院で活動する僧侶の方がたとの関係を構築し、ひいては地方寺院の活性化、当協会の諸活動や「仏教聖典」頒布等に対する理解の促進と拡大を図る。

2. 仏教音楽の現代化とその普及事業について

伝統的宗教音楽を継承すると同時に、仏教音楽の現代化を進め、広く仏教精神とその文化に親しんでいただくことによって、仏教的基盤の確立を目指し、仏教音楽にちなんだコンサートや、新しい仏教音楽の作品募集などを行っている。

平成30年度は、昨年11月8日紀尾井ホールにて開催した「第18回ブッダスベル仏教～Peaceful Light 平和の光」の際に披露した「平和ソング」の普及活

動を推進していく。当日の映像をホームページにて公開し YouTube 等の動画サイトに誘導し、音源（CD または DVD）と楽譜を、各宗派本山をはじめ全国の仏教系の学校に配布する等を予定している。また「第 19 回ブッダスベル仏教音楽祭」に向けて、音楽普及委員会を 2 回開催する。

3. 三田落語会の事業について

仏教説話や寺社を舞台とする古典落語を交えて、近隣はじめ一般の方がたに楽しんでいただくと同時に仏教精神の涵養と仏教文化継承を目的とし、平成 24 年 4 月より当協会の主催として「三田落語会」を開催運営してきた。

平成 30 年度より定例の公演は休止とし、代わりに 6 月 9 日（土）、浜離宮朝日ホールにて「三田落語会 大感謝祭」を開催する。昼夜の二部公演で各 380 名の来場を見込んでいる。

4. 貸し会議室事業に関する事項

◇公益目的事業としての施設の貸与事業について

仏教伝道センタービルの施設を有効活用し、公益目的事業として施設の貸与事業を行う。当協会が公益財団移行後に公益目的として掲げる“豊かな人間性を育て、より良い社会の形成を促進しもって人類の幸福と世界平和の実現”に貢献する事を目的とした会議等を開催する公益法人、社会福祉団体、NPO 法人、市民団体等を優先し、通常（一般）は 3 ヶ月前からの予約受付に対し、6 ヶ月前から予約を受け付け、通常（一般）価格の半額で貸出し、多くの公益目的事業を側面から支援することによって、社会貢献する。

II. 収益事業計画（収 1）

◆収益事業としての施設の貸与事業に関する事項

仏教伝道センタービルの施設における公益事業目的で当面使用予定のない空きスペースならびに空き時間を一般に向けて貸与する事業を平成 30 年度も継続して行い、利益のうち 50% を公益目的事業に寄付する予定である。

III. その他

本事業計画に掲げるもののほか、この法人の目的達成のため、必要と認める事業を行う。

以 上